

笛吹市教育委員会会議録

1 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日時

会議名：令和5年度1月定例会

開催日：令和6年1月9日

開会時間：午後2時00分

閉会時間：午後3時50分

開催場所：笛吹市役所市民窓口館302・303会議室

2 出席及び欠席委員の氏名

出席者：教育長	望月 栄一
教育長職務代理	飯田 多恵子
教育委員	内田 淳
教育委員	高野 仁美
教育委員	三井 久美子
教育委員	中島 知晴

3 委員及び傍聴人を除く議場に出席した職員の職氏名

出席者：教育部長	太田 孝生
教育総務課長	手塚 克巳
学校教育課長	久保田 雄
学校教育課指導主事	黒澤 宏至
学校教育課指導主事	日原 博人
生涯学習課長	荻原 昭
文化財課長	望月 和幸
図書館長	吉岡 浩
教育総務課総務担当	田中 政人
〃	宮川 友美

4 他部署より出席した長及びその事務局部の職員の職氏名

出席者：なし

5 教育長等の報告の要旨

教育長：12月21日から1月9日までの事業報告

教育総務課：12月26日から12月27日までの事業報告

学校教育課：教職員人事作業日程について

令和6年度学校閉庁日について
第5回 ICT 連絡会議（全教職員対象）開催について
全国学力学習状況調査分析結果について
笛吹市中学校関東大会及び全国大会生徒出場補助金交付要綱
改正について
その他

生涯学習課：1月7日の事業報告

文化財課：12月21日から1月9日までの事業報告

図書館：11月28日から11月30日までの事業報告

6 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

7 議会に付した議案、議事の概要、議決事項

議案第22号：不登校児童生徒の「指導要録上の出席扱い」に関するガイド
ラインについて

日原指導主事：資料に基づき説明

内田委員：資料を見せていただき、大変なご苦労されたと思う。

内容について検討と確認をしていただきたいので伝えさせて
いただく。

まず目次と本文中の見出しについて、「」のありなし、及び
は漢字なのかひらがなのか、表現を一致させたほうがよい
のではないか。

宛名については、一般的に文章を使う場合〇〇様ではなく〇
〇殿だと思う。

他には、目次Vの（様式4）の数字4が抜けている。また、
フォントの異なりやタブの位置がズレているページもあるので
統一していただきたい。

「指導監」「指導課長」は、笛吹市では使わないと思われる
ので、市に合わせて検討していただきたい。

指導要録上の出席扱いに関するガイドラインに基づく申請書
で、（本人の自筆が望ましい）とあるが、あえて本人に書いて
もらう理由とは何か。

また、児童生徒への相談・指導等の状況および内容の記録で、
学校確認欄とあるが、一体何を書けばいいのか。例えば確認
した人の氏名と印鑑なのか、それとも確認したことを何か文
言で記入するのか、使い方が不明である。

学校として聞き取りをする際の参考例の取り扱いについて、学校は参考例を基に、聞き取りを行うと思われる。そうすると、質問事項の右の結果欄にメモをとることも想定されるので、少し幅を広げてもよいのではないか。また、生徒への質問事項について、「民間施設でどのようなことをどのように学びますか」と「民間施設で何を学びたいですか」と記されているが、少し質問が似ているように感じる。

日原指導主事：確認していただきありがとうございます。

文言等はきちんと統一をし、体裁等も整えて資料を作成する。検討する部分もあるが、何点かご質問等答えられる範囲で答えさせていただく。

まず表現の統一について、V申請の流れは保護者向けを意識した表現になっている。今後保護者向けを作成し、ホームページに掲載することも考えている。

押印についてはしない方向で考えている。確認欄については、用紙が写しになっているので、校長には確認の意味で名前を書いていただき提出してもらおう方向で考えている。

〇〇様か〇〇殿については、市教育支援センターステラで承諾書等の通知を出しているの、そちらに合わせる方向で考えている。

他にもご指摘いただいたところは、変えていく方向で検討する。

三井委員：参考例の生徒への質問と保護者への質問項目に、「なぜ学校に行きたくないのですか」とあるが、いじめとかの場合、言いたくないお子さんもいると思う。何回も聞かれるのは子供にとっても保護者にとってもすごい負担になるのではないかと思う。

内田委員と同じで、参考例をそのまま使用することも十分考慮し、子供や保護者の気持ちを汲んでいただけたらありがたい。

日原指導主事：あくまで参考例だが、子供や保護者に対して負担になるところもある。意見伺う中で、参考例としても出さずに、項目を絞っていくことを検討する。

飯田職務代理者：私も三井委員と同じで生徒への質問例に含めていいものか気になった。参考例に沿って質問することであれば、単に例としてではなく、今一度、生徒への質問内容は慎重に考えた方

がいいと思う。

そして、民間施設に行くことが妥当かどうか判断するための参考とあるが、民間に行くことが妥当かどうかは何を基準に判断するのか。

日原指導主事：市教育支援センターステラにも行っていただきたい思いも含まれているが、もちろんどこに行くのが正しいとかはないため、表現だけでなく項目数や内容も再度検討する。

修正したものをもう一度、教育委員の皆様に見ていただきたい。

望月教育長：基本的にはガイドラインに沿った形の中で進めていき、細部に係る記述内容は、再度修正を加えながら改めて、次回2月5日の定例教育委員会で確認を行うでよろしいか。

高野委員：できれば修正後の資料を、事前に見せていただきたい。

望月教育長：資料を事前に郵送し、確認していただいた上で再度議論していく。

議案第22号：次回確認する方向で承認

議案第23号：史跡甲斐国分寺跡・甲斐国分尼寺跡保存活用計画策定について

文化財課長：資料に基づき説明

橘田主幹：資料に基づき説明

飯田職務代理者：このような素晴らしい史跡跡があってもなかなか行く機会がなかったので、家族で国分寺跡に行ってきた。学術的にも、施設的にも本当に素晴らしい価値あるものが、本市にあるということにまず驚きを感じた。

私たちの他にも来場者の方がいて見学していました。史跡遺跡を好きな方はもちろん、知らなかったり、興味のない方もあの場に行くと、いろいろ巡らすことができるので、少しずつでも行ってみようと思う方がこれからも増えるといいなと感じた。保存整備もぜひ進めていっていただきたい。

文化財課長：こんなに素晴らしい価値あるものが笛吹市にあるということを知らない市民が結構いる。魅力を伝える事が我々の弱点だと実感しているので、ぜひ広報活動の面でご協力いただきたい。

また、この計画に基づいて整備保存を進めていくが、もう一つ大きな柱の活用の部分で、市民の方に来ていただかないとあまり意味がないので、その点についても努めていきたい。

中 島 委 員：小中学校で面白く学んだことをきっかけに、歴史の授業に興味がなくとも都市伝説的なことに子供たちが興味を持ち、学びを深めていくこともあると思うので、学校教育との連携というところに力を入れていただきたい。

また、交流・憩いの場としての活用とあるので、小さい子も居心地よく過ごせる環境を整備していくことで、歴史的な大事なこの文化そのものが残っていくのかなと感じた。

文化財課長：市として学校との連携が非常に大事だと考えており、わかりやすい資料を作成し、生徒たちがタブレットを使って学ぶことなどを考えている。

また資料や教材を活用しながら、子供たちが興味を持って遊びに来てもらえるような施設にしたいと考えている。

議案第23号：原案通り承認

8 教育長が必要と認める事項（議事資料）

なし

議事録署名

笛吹市教育委員会 教 育 長 _____

教育委員 _____

教育委員 _____

作成職員 _____